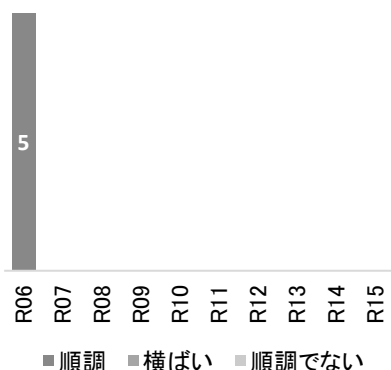


めざまちの姿4 健康・生涯学習分野 ～心身ともに健康で、いきいきと生活している～

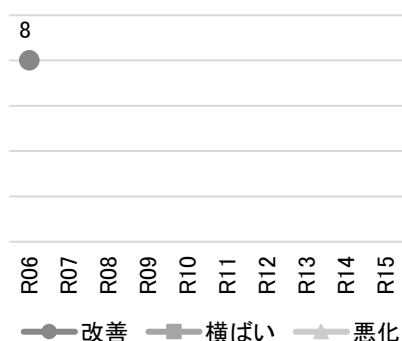
■ 施策評価の推移

施策名	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
健康づくりの推進	順調									
生涯学習の推進	順調									
スポーツの推進	順調									
文化芸術の推進	順調									
郷土の歴史・伝統文化・文化財の継承と振興	順調									

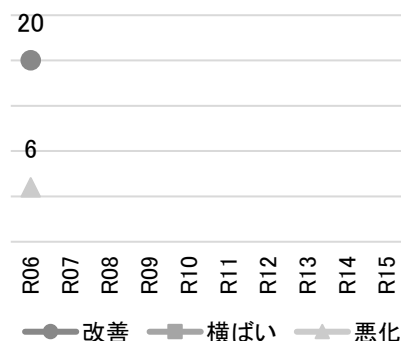
施策評価の推移



まちづくり指標の推移
(対基準値)



成果指標の推移
(対基準値)



■ 指標の状況(対基準値)

■ まちづくり指標

健康寿命(男性)	+0.2%	向上
健康寿命(女性)	+0.3%	向上
生涯学習を行っている人の割合	+5.4%	向上
スポーツを実践している人の割合	+1.6%	向上
スポーツ観戦をしたことがある人の割合	+44.6%	向上
文化芸術活動を複数回鑑賞したことがある人の割合	+33.3%	向上
文化芸術活動が盛んなまちであると思う人の割合	+8.7%	向上
市の歴史や伝統文化について知っている項目数	+14.8%	向上

■ 成果指標 (小数点端数表示の関係で、足し上げても100%にならない場合があります)

改善	76.9%	横ばい	0.0%	悪化	23.1%
----	-------	-----	------	----	-------

■ 関連する個別計画

- 健康増進計画
- 国民健康保険データヘルス計画・特定健康診査等実施計画
- とうかい教育夢プラン
- 子ども読書活動推進計画
- スポーツ推進計画
- 文化創造プラン
- 横須賀文化の香るまちづくり基本計画

施策 11 健康づくりの推進

主管課：健康推進課

施策の目標

だれもが、健康づくりを意識し行動することで、健康寿命が延びています。

施策の基本方針

健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じた心身の健康づくりに関する取り組みを推進することで、生活習慣を見直す機会を支援します。
また、健康づくりに取り組みやすい環境を整えることで、市民や関係団体、事業者による自主的な健康づくりを推進するとともに、身近な医療機関で安心して受診できる環境を整備します。

施策実現の財源投入状況（単位：千円）

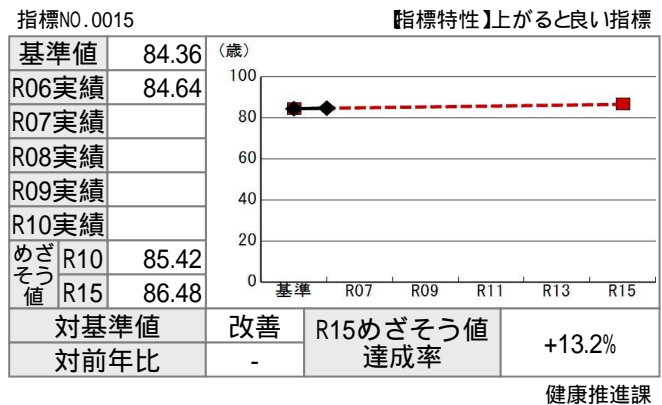
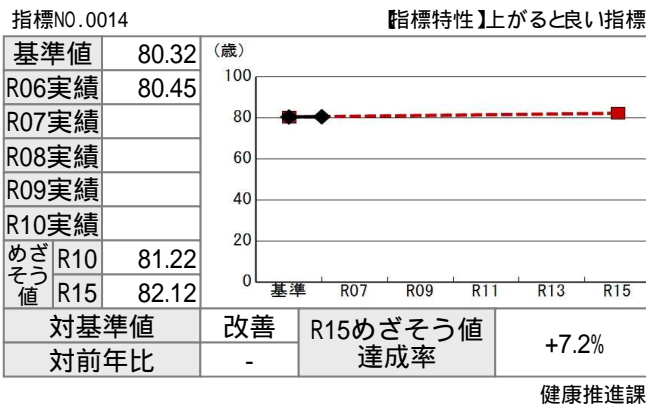
予算	R06年度	5,534,476	対前年比	102.1%
	R05年度	5,422,291		

決算	R06年度	5,245,752	対前年比	107.3%
	R05年度	4,887,581		

まちづくり指標の推移

健康寿命(男性)(歳)

健康寿命(女性)(歳)



施策全体の評価

順調

指標動向

- ・「男性の健康寿命」は基準値から0.13歳改善した。
- ・「女性の健康寿命」は基準値から0.28歳改善した。

施策全体の評価の要因分析

・まちづくり指標である男女の健康寿命は、いずれも対基準値で改善しており、単位施策の成果指標においても、単位施策03「健康づくりの環境整備を推進する」を除き、いずれも対基準値、対前年比で改善している。単位施策03においても健康宣言事業所や健康応援ステーション参加店舗の廃業等の影響による指標の悪化がみられる一方、健康応援ステーションへの新規参加店舗もあることから、施策全体としては順調といえる。
・健康寿命の延伸においては、自身の健康状態を把握することは重要である。単位施策02「疾病の早期発見や重症化・介護予防を推進する」においては、年に1回健康診断を受けている人やがん検診を定期的に受けている人の割合が改善している。これは、単位施策01「人の健康づくりに対する意識の向上と取り組みを推進する」の指標の改善にみられるように、個人の健康意識の向上が大きく寄与している。

今後の方針

・健康づくりを支援する仕組みづくりと環境づくりとして、がん検診等の各種検診の受診方法などの情報発信や受診勧奨を行う。
・市民が身近な場所で自然に健康づくりに取り組みやすい環境整備として、健康応援ステーションの周知や、健康経営に取り組む企業への支援を進めていく。

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
健康のために取り組んでいる生活習慣の項目数（項目/人）	5.2	5.2	5.3	5.4	改善

成果指標動向

- ・「健康のために取り組んでいる生活習慣の項目数」は基準値からは0.2ポイント、前年度から0.1ポイント改善し、順調に推移したと考える。
- ・個別項目では、口腔に関する項目や禁煙に関しては4～6割の市民が取り組んでいる一方で、野菜摂取や定期的なウォーキングは1～2割程度の取り組みとなっている。
- ・適正体重の維持や、運動に関する取り組みについては、全体に占める割合が低い。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算		
04-01-02	食生活改善活動事業	301	289		
活動結果	食を通じた市民の健康づくりを推進するため、食生活改善推進員の養成講座及び会員を対象とした生涯学習を実施した ・食生活改善推進員養成講座 全8回(2024年7月7日～2025年2月7日) 受講者数 16人、修了者11人 ・食生活改善推進員生涯学習 20回(4グループ×5回)	決算の内訳(主なもの)			
		7節	126		
		8節	7		
		10節	156		
		課名		【健康推進課】	
04-01-02	8020・9020推進事業	336	321		
活動結果	健康寿命の延伸のため、80歳以上で20本以上歯を有する者と、90歳以上で20本以上歯を有する者を表彰した ・開催日 2024年 9月 9日 ・場所 しあわせ村ふれあい交流館 ・被表彰者数 9020表彰 42人、8020表彰 186人	決算の内訳(主なもの)			
		7節	38		
		10節	42		
		11節	241		
		課名		【健康推進課】	
04-01-02	健康応援情報提供事業	80	43		
活動結果	健康診断の結果から一人ひとりにあった運動・食生活応援メニューの提供を実施した ・場所 しあわせ村トレーニング室及び市民体育館トレーニング室 ・判定者数 1,110人	決算の内訳(主なもの)			
		10節	43		
		課名		【健康推進課】	
		04-01-02	高齢者健康づくり事業	1,215	1,076
		活動結果	高齢者の健康づくりを支援するため、市が誘致した民間健康施設を利用する65歳以上の高齢者に対して施設の利用料金を一部助成した ・対象施設 コバンスポーツクラブ東海 ・延べ利用者数 1,000人(登録者数112人) ・助成額 1,000円/月	決算の内訳(主なもの)	
11節	76				
18節	1,000				
課名				【健康推進課】	
04-01-02	健康増進計画策定事業			773	732
活動結果	第2次東海市健康増進計画が令和6年度で計画最終年度であったことから、健康増進法に基づく国の「健康日本21(第三次)」の策定内容等を踏まえ、「すべての人が生涯にわたり健康に暮らせるまちとうかい」を基本理念とした第3次東海市健康増進計画を策定した ・計画期間 2025年度～2035年度	決算の内訳(主なもの)			
		10節	732		
		課名		【健康推進課】	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
年に1回は健康診断を受けている人の割合 (%)	72.7	72.7	76.7	77.8	改善
がん検診を定期的に受けている人の割合 (%)	43.6	43.6	41.9	43.9	改善
新規要介護認定者の平均年齢 (歳)	80.94	80.94	81.18	81.45	改善

成果指標動向

- ・「年に1回は健康診断を受けている人の割合」は前年度比1.1ポイント、対基準値では5.1ポイント改善している。
- ・「がん検診を定期的に受けている人の割合」は前年度比2.0ポイント、対基準値で0.3ポイント改善している。
- ・「新規要介護認定者の平均年齢」は前年度比で0.27歳、対基準値で0.51歳改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
04-01-02	健康診査事業	105,039	100,435
活動結果	後期高齢者医療制度被保険者、生活保護受給者等を対象に健康診査を実施した ・実施期間 2024年 6月～2025年 2月 ・後期高齢者医療制度被保険者 対象者数15,141人、受診者数8,158人、受診率53.9% ・生活保護受給者及び無保険者 対象者数711人、受診者数134人 受診率18.8%	決算の内訳 (主なもの)	
		10節	157
		11節	4,168
		12節	96,110
		課名	
04-01-02	歯周病検診事業	8,462	6,954
活動結果	歯周病の早期発見・早期治療につなげるため、40～70歳までの5歳刻みの者を対象に無料クーポン券を配布し、市内歯科医療機関にて歯周病検診を実施した ・実施期間 2024年 6月～2025年 2月 ・対象者 40、45、50、55、60、65、70歳の者 9,771人 ・受診者数 1,115人、受診率11.4%	決算の内訳 (主なもの)	
		10節	61
		11節	602
		12節	6,291
		課名	
04-01-02	胃内視鏡検診事業	8,482	8,482
活動結果	バリウムによる検診以外の選択が可能となるよう、胃内視鏡検診を胃がん検診に位置づけて、市内医療機関において実施した ・実施期間 2024年 6月～2025年 2月 ・対象者 50歳以上の西暦偶数年生まれの者 24,114人 ・受診者数 439人、受診率1.8%	決算の内訳 (主なもの)	
		10節	2
		11節	43
		12節	8,437
		課名	
04-01-03	介護予防普及啓発事業	2,368	1,894
活動結果	介護予防について学び、活動的な生活の視点を取り入れてもらうため、講座や講演会を開催して介護予防活動の啓発を行った ・介護予防普及啓発研修会 44人 ・高齢者元気アップ教室 3会場 延822人 ・フレイルチェック会 7会場 延148人	決算の内訳 (主なもの)	
		10節	138
		11節	117
		12節	1,622
		課名	
04-01-05	予防接種事業	705,449	524,153
活動結果	予防接種法による法定予防接種及び任意予防接種を実施した ・主な法定予防接種件数 委託 五種混合 2,277件、高齢者コロナウイルス 5,643件、子宮頸がん 3,941件(定期875件、キャッチアップ3,066件) 県外等予防接種費補助 小児 138件、成人 65件 任意予防接種 おたふくかぜ 727件、帯状疱疹 1,355件	決算の内訳 (主なもの)	
		10節	547
		12節	520,642
		18節	2,725
		課名	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
健康宣言事業所数（事業所）	96	96	168	166	改善
健康応援ステーションの数（箇所）	36	36	32	33	悪化

成果指標動向

- ・「健康宣言事業所数」は、前年度より2事業所減少しているが、基準値より70事業所増加し、大きく改善している。
- ・企業への啓発活動や、健康度判定、出張講座の実施等により、健康経営に関する意欲、意識の向上が要因と考える。
- ・「健康応援ステーションの数」は、前年度より1箇所改善しているが、基準値より3箇所減少している。

内訳は、運動ステーションは基準値と増減はなく、食生活ステーションについて3箇所減少している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
03-01-09	しあわせ村健康ふれあい交流館非構造部材等整備事業	61,932	61,932
活動結果	しあわせ村健康ふれあい交流館温浴室非構造部材改修工事及び工事監理を実施した ・場所 荒尾町西廻間地内 ・内容 温浴室天井の非構造部材改修 一式 ・工期 2024. 6. 29～2025. 3. 18	決算の内訳（主なもの）	
		12節	2,513
		14節	59,419
		課名 【健康推進課】	
03-01-09	しあわせ村健康ふれあい交流館温浴室改修事業	385,308	361,136
活動結果	しあわせ村健康ふれあい交流館温浴室改修工事及び工事監理を実施した ・場所 荒尾町西廻間地内 ・内容 温浴室及び集会室内部改修 一式 ・工期 2024. 6. 29～2025. 3. 18	決算の内訳（主なもの）	
		12節	5,242
		14節	350,628
		17節	4,788
課名 【健康推進課】			
03-01-09	しあわせ村ボイラー改修事業	39,435	39,435
活動結果	しあわせ村健康ふれあい交流館温浴室ボイラー改修工事を実施した ・場所 荒尾町西廻間地内 ・内容 温浴室温水ボイラー取替 一式 ・工期 2024. 5. 2～2025. 3. 7	決算の内訳（主なもの）	
		14節	39,435
		課名 【健康推進課】	
04-01-02	トマト健康プロジェクト事業	11,232	11,074
活動結果	トマトで健康づくり条例に基づき、飲食店41店舗との連携によるトマトを活用した健康応援メニュー開発・提供及びとまと記念館で健康ランチの提供、児童を対象としたトマト出前授業等を実施した ・トマトde健康フェスティバル ラリー達成者971人(7,558食) ・健康ランチの提供 開館日数 156日、提供数 4,446食 ・トマト出前授業 実施小学校 1校	決算の内訳（主なもの）	
		10節	309
		12節	10,052
		13節	655
課名 【健康推進課】			
04-01-02	シニア健康スポーツフェスティバル開催事業	195	195
活動結果	高齢者の健康づくり・生きがいづくりを推進するため、地域で活動している団体の発表会及びウォーキングを実施した ・いきいき元気フェスティバル 参加者 10団体 131人 ・太田川健康ウォーキング 参加者 182人	決算の内訳（主なもの）	
		12節	195
		課名 【健康推進課】	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
かかりつけ医を持っている人の割合 (%)	61.7	61.7	62.9	63.7	改善
かかりつけ歯科医を持っている人の割合 (%)	67.4	67.4	69.2	70.6	改善
休日、夜間に受診可能な医療機関を自ら調べられる人の割合 (%)	69.1	69.1	68.0	69.0	悪化

成果指標動向

- ・「かかりつけ医を持っている人の割合」は基準値より2.0ポイント、前年度より0.8ポイント改善している。
- ・「かかりつけ歯科医を持っている人の割合」は基準値より3.2ポイント、前年度より1.4ポイント改善している。
- ・「休日、夜間に受診可能な医療機関を自ら調べられる人の割合」は基準値より0.1ポイント低下し、前年度より1.0ポイント改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算	
03-01-01	国民健康保険事業特別会計繰出金	705,229	690,355	
活動結果	・保険基盤安定繰入分 407,462千円		決算の内訳 (主なもの)	
	・未就学児均等割・産前産後保険税繰入分 9,142千円		27節 690,355	
	・職員給与費等繰入分 149,464千円			
	・出産育児一時金繰入分 19,352千円			
	・財政安定化支援事業繰入分 26,015千円			
	・その他一般会計繰入分 78,920千円			
			課名	
			【国保課】	
03-01-06	後期高齢者療養給付費負担金	1,031,494	1,031,494	
活動結果	愛知県後期高齢者医療広域連合が給付する医療費について、負担金を支出した		決算の内訳 (主なもの)	
	・市負担割合 1/12		18節 1,031,494	
	・現年分 1,031,494千円			
	・過年分 0千円			
				課名
				【国保課】
04-01-01	公衆衛生活動補助事業	3,720	3,720	
活動結果	市民の健康の保持及び増進を図るため、公益上必要な救急医療、在宅医療、保健衛生及び医療者養成等の公衆衛生活動を推進する団体(医師会、歯科医師会、薬剤師会)へ補助金を交付し、行政サービスとの協力体制を確保した		決算の内訳 (主なもの)	
	・補助額 医師会2,130千円、歯科医師会1,050千円		18節 3,720	
	・薬剤師会540千円			
				課名
				【健康推進課】
04-01-01	在宅当番医制運営事業	7,032	6,652	
活動結果	休日におけるケガ等で入院治療を必要としない救急患者に対応するため、第1次救急医療体制を整える経費に対し、補助した		決算の内訳 (主なもの)	
	・委託先 東海市医師会		12節 2,000	
	・委託内容 休日(日、祝日)の昼間における診療		13節 132	
	・補助対象 事業に係る事務運営に対する経費		18節 4,520	
	・当番実績 延72日(内年末年始5日)			
				課名
		【健康推進課】		
04-01-01	病院群輪番制病院運営費負担金	5,959	5,959	
活動結果	休日又は夜間における入院治療を必要とする救急患者に対応するため、救急医療を行う病院運営を知多5市5町で行った		決算の内訳 (主なもの)	
	・公立西知多総合病院、小嶋病院、常滑市民病院、半田市立半田病院、杉石病院、石川病院、知多厚生病院、渡辺病院		18節 5,959	
	・負担額 5,959千円			
				課名
				【健康推進課】

施策 12 生涯学習の推進

主管課：社会教育課

施策の目標

生涯学習に取り組み、だれもが生きがいを感じて暮らしています。

施策の基本方針

生涯にわたる学習活動の推進のため、高齢者や勤労者、子育て世代、学生などの余暇時間において、だれもが楽しく学び、学んだことを生活に生かすことができるよう、多様化する市民ニーズに合った学習の場や学びはじめる機会を提供します。

また、読書に親しみ、知識や教養を高めていけるよう、変化する社会情勢などにも対応した読書環境を充実させます。

施策実現の財源投入状況 (単位：千円)

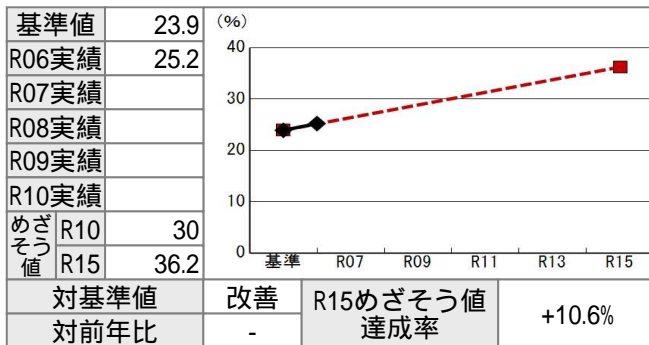
予算	R06年度	4,172,888	対前年比	284.0%	決算	R06年度	4,164,346	対前年比	751.8%
	R05年度	1,469,537				R05年度	553,950		

まちづくり指標の推移

生涯学習を行っている人の割合 (%)

指標NO.0016

【指標特性】上がるとうい指標



基準値	
R06実績	
R07実績	
R08実績	
R09実績	
R10実績	
めざそう値 R10	
めざそう値 R15	
対基準値	
対前年比	

社会教育課

施策全体の評価

順調

指標動向

・まちづくり指標は、対基準値で1.3ポイント改善している。年齢別では16～19歳が対基準値で13.1ポイント改善しており、職業別では、対基準値で自営業が11.1ポイント、学生が12.6ポイント改善している。また、全ての年代において、運動に取り組んでいる市民の割合が高くなっている。

施策全体の評価の要因分析

・まちづくり指標は、コロナ禍を経て、市民が運動をはじめとした生涯学習活動に充てる時間が増えてきたことなどを要因として、順調に改善している状況となっている。
 ・単位施策02の成果指標「中央図書館及び横須賀図書館の年間貸出総数」は改善したものの「児童生徒の1ヶ月に読んだ本の冊数」及び「本を読むことが大切と思う割合」は低下しており、スマートフォンやタブレットの普及に伴う情報取得方法の変化が影響を与えていると考える。

今後の方針

・地域住民にとって身近な施設である地区公民館・市民館は、市民が安心安全に生涯学習活動を行えるよう、ハード・ソフト両面からの整備が必要であるため、市民ニーズを踏まえた講座の企画に加え、老朽化が進む施設については計画的な修繕を実施していく。
 ・紙書籍に加えて電子書籍の提供を行うことで、来館が困難な市民の学習意欲に応えられるよう読書環境を充実させるとともに、若年層における情報取得手段の変化にも対応する。また、老朽化している施設の計画的な修繕を実施していく。

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
生涯学習活動での公民館、市民館、コミュニティセンターなどの利用者数（人/年）	299,676	299,676	288,236	297,353	悪化
生涯学習に関する講座などの参加者数（人/年）	61,472	61,472	65,590	68,579	改善

成果指標動向

・「生涯学習活動での公民館、市民館、コミュニティセンターなどの利用者数」は、前年度より9,117人改善しているが、基準値より2,323人低下している。

・「生涯学習に関する講座などの参加者数」は、基準値から7,107人改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
10-04-01	映画等制作事業	48,716	44,585
活動結果	東海市創造の杜交流館の開館に向けて、東海市の魅力再発見と施設への理解を深めるとともにPR等を図るため、東海市を撮影地とした映画を制作した（2023～2024年度債務負担行為） ・内容 映画撮影、映画制作ワークショップ等	決算の内訳（主なもの）	
		8節	85
		18節	44,500
		課名	
		【社会教育課】	
10-04-05	上野公民館給排水設備改修事業	2,915	2,915
活動結果	高齢者等が安心して施設を利用できるように、老朽化している上野公民館の給排水設備の改修に合わせ、バリアフリートイレを整備するため、実施設計を行った ・場所 上野公民館 ・内容 上野公民館便所改修工事に係る実施設計 ・工期 2024. 5. 2～2024. 11. 15	決算の内訳（主なもの）	
		12節	2,915
		課名	
		【社会教育課】	
		10-04-05	公民館等Wi-Fi環境整備事業
活動結果	市民サービスの向上及び上野公民館の新たな利活用に寄与するため、上野公民館にWi-Fi環境を整備した ・場所 上野公民館 ・内容 LAN敷設工事等 ・工期 2024. 5. 1～2024. 8. 31	決算の内訳（主なもの）	
		11節	44
		14節	843
		17節	35
		課名	
【社会教育課】			
10-04-05	市民館体育室等空調機設置事業	63,228	62,895
活動結果	利用者の安心安全な活動環境を確保するため、市民館等の体育室等に空調機を設置した ・場所 加木屋南市民館始め3館 ・内容 実施設計及び空調機設置工事 ・工期 2024. 9. 12～2025. 1. 24	決算の内訳（主なもの）	
		12節	6,457
		14節	56,438
		課名	
		【社会教育課】	
10-04-09	創造活動・歴史文化交流施設整備事業	2,519,482	2,519,471
活動結果	「横須賀文化の発信拠点」、「映像（映画）を中心とした創造活動の場」、「多世代交流の場」をコンセプトに、東海市創造の杜交流館を整備した（2023～2024年度継続事業） ・場所 横須賀町狐塚地内 ・内容 建設工事等 ・工期 2023. 12. 21～2025. 3. 31	決算の内訳（主なもの）	
		12節	27,776
		13節	1,940
		14節	2,488,423
		課名	
【社会教育課】			

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
中央図書館及び横須賀図書館の年間貸出総数（冊/年）	770,853	770,853	838,523	803,255	改善
児童生徒が1か月に読んだ本の冊数（冊/人）	4.4	4.4	3.9	3.9	悪化
本を読むことが大切であると思う児童生徒の割合（%）	87.2	87.2	82.9	80.8	悪化

成果指標動向

- ・「年間貸出総数」については、システム更新に伴う休館や、停電に伴う横須賀図書館の臨時休館による開館日数の減が要因と考えられるが、前年度と1日当たりの平均貸出冊数は変わらない。
- ・「読んだ本の冊数」については、基準値に比べ、児童が0.9ポイント減少しており、児童生徒ともに読書量が減少している。また、前年度と比べ、1冊も読まない生徒が3.7%増加している。
- ・「本を読むことが大切と思う割合」については、児童生徒ともに同数程度の減少がみられ、1人1台端末機の導入やスマートフォンの普及等に伴う読書離れが進んでいると考えられる。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
10-04-06	図書館蔵書整備事業	26,507	26,304
活動結果	市民の多様な学習要求に応えられるよう、図書・新聞・雑誌を収集し、情報検索システムを用意した ・一般書8,231冊、児童書3,021冊、郷土資料・参考書110冊、視聴覚資料255点、計11,617点購入 ・新聞 26紙、雑誌 199誌購入 ・官報、法令等情報検索システム	決算の内訳（主なもの）	
		10節	3,720
		13節	497
		17節	22,076
		課名 【中央図書館】	
10-04-06	子ども文庫（小学校）事業	7,542	7,501
活動結果	「子ども読書活動推進計画」に基づき、1～6年生は毎月、特別支援学級は学期毎に1コンテナに35～40冊をセットした学級文庫用図書（愛称：「わくわく文庫」）を配本・巡回した ・対象 市内小学1～6年生の全クラス ・実施時期 2024年 4月～2025年 3月 ・児童書 892冊購入	決算の内訳（主なもの）	
		10節	66
		12節	6,121
		17節	1,314
		課名 【中央図書館】	
10-04-06	日本福祉大学図書館連携事業	417	398
活動結果	市民の生涯学習の場を拡充するため、日本福祉大学付属図書館東海分館と連携し、東海市図書コーナーに一般書(小説・実用書等)や市の郷土資料を配本し、ラウンジ(雑誌コーナー)に一般雑誌を配本した ・図書 101冊購入 ・雑誌 20誌購入	決算の内訳（主なもの）	
		10節	239
		17節	159
		課名 【中央図書館】	
10-04-06	中央図書館閉架書庫エレベーター改修事業	35,529	35,528
活動結果	中央図書館閉架書庫エレベーター改修工事(週休2日制工事) ・場所 中央図書館(中央町三丁目地内) ・内容 閉架書庫エレベーターの改修 ・工期 2024. 7. 10～2025. 2. 5	決算の内訳（主なもの）	
		11節	64
		12節	2,805
		14節	32,659
		課名 【中央図書館】	
10-04-06	図書管理システム修正事業	1,650	1,650
活動結果	2025年4月から開始する電子書籍サービスの準備に伴い、電子書籍システムと連携するため、図書管理システムの修正を行った ・期日 2024. 8. 1～2025. 3. 31	決算の内訳（主なもの）	
		12節	1,650
		課名 【中央図書館】	

施策 13 スポーツの推進

主管課：スポーツ課

施策の目標

市民が、日ごろからスポーツに親しみ取り組んでいます。

施策の基本方針

学校や事業者、各種団体などと連携を強化し、自ら身体を動かして行う「する」スポーツだけでなく、プロスポーツをはじめとした各種競技大会を観戦する「みる」スポーツ、監督・指導者や大会のスタッフ・ボランティア、また、ファンとして関わる「ささえる」スポーツの視点により、市民のスポーツ活動を推進します。

施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	365,951	対前年比	58.4%
	R05年度	626,614		

決算	R06年度	356,426	対前年比	58.2%
	R05年度	612,524		

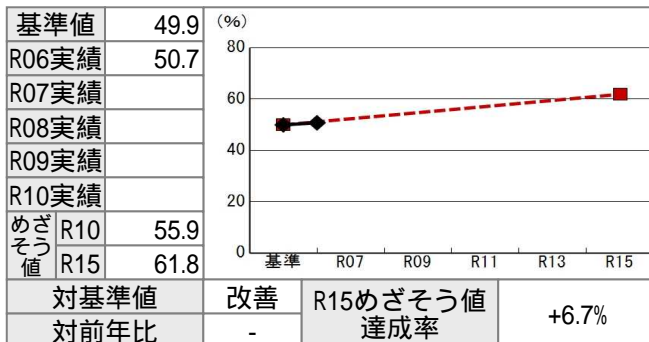
まちづくり指標の推移

スポーツを実践している人の割合 (%)

スポーツ観戦をしたことがある人の割合 (%)

指標NO.0017

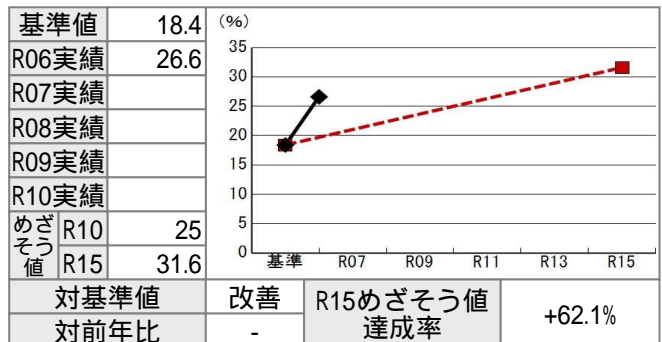
【指標特性】上がるが良い指標



スポーツ課

指標NO.0018

【指標特性】上がるが良い指標



スポーツ課

施策全体の評価

順調

指標動向

- ・「スポーツを実践している人の割合」は、基準値から0.8ポイント改善している。年齢別では10歳代が高く、30歳代が低い傾向にある。学区別では三ツ池が高く、その他の学区では大きな差異は見られない。
- ・「スポーツ観戦をしたことがある人の割合」は、基準値から8.2ポイント改善している。年齢別では、高齢者は低い傾向にある。学区別では、差異は見られない。

施策全体の評価の要因分析

- ・基準値から低下している指標はあるものの、「スポーツを実践している人の割合」などのまちづくり指標は基準値から改善しており、2つの単位施策も順調と評価できることから、全体として順調と考える。
- ・「スポーツを実践している人の割合」については、スポーツ分野においても市制55周年記念事業を実施し、スポーツ機会を創出できたことにより改善したと考える。また「スポーツ観戦をしたことがある人の割合」では、本市出身のオリンピック選手の応援事業などにより改善したと考える。
- ・単位施策01の成果指標「市内スポーツ事業に参加したことがある人の割合」は基準値より改善しており、各種スポーツ団体と連携し、魅力ある事業を展開した成果といえる。一方、単位施策02の成果指標「スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合」はやや低下しており、令和5年度に実施した調査結果を踏まえ、新たなスポーツ施設の整備を進める必要がある。

今後の方針

- ・「する」「みる」「ささえる」視点での取り組みを進め、スポーツに関わる人を増やし、市民の心身の健康を高めるとともに、スポーツを通して人と人との交流を深め、地域の一体感や活力あるまちづくりにつなげていく。
- ・令和8年度に開催されるアジア競技大会において、カバディ種目の受入れを通じて得られる大会のレガシーを、今後のスポーツ振興、国際交流の促進、交流人口の拡大につなげられるよう、市民や各種団体と一体となって準備を進めていく。

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
市内スポーツ事業に参加したことがある人の割合 (%)	5.3	5.3	5.5	7.5	改善

成
果
指
標
動
向

- ・「市内スポーツ事業に参加したことがある人の割合」は基準値から2.2ポイント改善している。
- ・年齢別では、20歳代が、やや少ない。
- ・地区別での差異は見られない。
- ・職業別では、学生と無職が、やや少ない。

主
な
事
業
の
概
要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
10-05-01	スポーツ推進委員会設置事業	5,895	5,496
活動結果	スポーツ推進委員会を設置し、地域スポーツ活動の推進及び各種スポーツ大会の運営などを行った ・全体会 年12回 ・活動等 子ども教室、体力テスト&ニュースポーツ体験会、太田川健康ウォーキング、知多北地区連絡協議会の活動等	決算の内訳 (主なもの)	
		1節	5,093
		8節	338
		18節	35
		課名	
		【スポーツ課】	
10-05-01	ニュースポーツ大会等開催事業	149	138
活動結果	日頃のスポーツ活動の目標となるニュースポーツ大会等を実施した ・大会等 ペタンク大会、夕涼みモルック、体力テスト&ニュースポーツ体験会、ボッチャ体験会	決算の内訳 (主なもの)	
		7節	70
		10節	68
		課名	
		【スポーツ課】	
10-05-01	シニア健康スポーツフェスティバル開催事業	256	256
活動結果	高齢者の健康増進と生きがいづくりを推進するため、高齢者を対象とするスポーツ大会を開催した ・大会等 グラウンドゴルフ、ソフトテニス、硬式テニス、スローピッチソフトボール、卓球	決算の内訳 (主なもの)	
		7節	31
		10節	225
		課名	
		【スポーツ課】	
10-05-01	水泳教室開催事業	4,191	4,191
活動結果	市営温水プール廃止後、市内に屋内プールを持つ民間事業者と連携し、小学生対象の水泳教室を実施した ・委託先 (株)コパン、(株)ザ・ビッグスポーツ ・回数 10日間×3回/年×2事業者	決算の内訳 (主なもの)	
		12節	4,191
		課名	
		【スポーツ課】	
		10-05-01	学校部活動地域移行推進補助事業
活動結果	総合型地域スポーツクラブであるスポーツクラブ東海が、中学校運動部活動の地域移行として行うジュニアクラブ事業の事務費及び事業費に対して補助した ・対象者 スポーツクラブ東海 ・補助率 定額	決算の内訳 (主なもの)	
		18節	2,800
		課名	
		【スポーツ課】	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合 (%)	54.1	54.1	54.7	53.9	悪化
市内スポーツ施設を利用したことがある人の割合 (%)	15.4	15.4	16.8	15.7	改善
全国大会出場団体・個人数 (件/年)	212	212	264	269	改善

成果指標動向

- ・「スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合」は基準値から0.2ポイント低下している。年齢別では、年齢を重ねるほど低い傾向がある。地区別での差異は見られない。
- ・「市内スポーツ施設を利用したことがある人の割合」は基準値から0.3ポイント改善している。年齢別、地区別での差異は見られない。
- ・「全国大会出場団体・個人数」は基準値から57件改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
10-05-01	東海ハーフマラソン開催補助事業	31,000	29,840
活動結果	東海ハーフマラソン大会を市制55周年記念事業として実施するための事業費に対して補助した ・開催日 2024年12月8日 ・部門 ハーフマラソン、10km、2kmの部 ・参加者数 4,962人	決算の内訳 (主なもの)	
		18節	29,840
		課名	
		【スポーツ課】	
10-05-01	第20回アジア競技大会開催支援事業	1,000	804
活動結果	アジア競技大会カバディ種目の開催に伴い、機運を高め、受入れに向けて準備を行った ・内容 広報、ホームページ、SNS等による周知、チラシ作成及びカバディ漫画配置による啓発、カバディ体験会の実施	決算の内訳 (主なもの)	
		7節	14
		8節	112
		10節	678
課名		【スポーツ課】	
10-05-02	市民体育館トイレ洋式化整備事業	7,893	5,071
活動結果	アジア競技大会カバディ種目の開催に伴い、トイレの洋式化等改修するための実施設計を行った ・場所 市民体育館(高横須賀町榊形地内) ・内容 和式便器の洋式化等を改修するための実施設計委託	決算の内訳 (主なもの)	
		12節	5,071
		課名	
		【スポーツ課】	
10-05-02	市民体育館エレベーター改修事業	30,741	27,037
活動結果	アジア競技大会カバディ種目の開催に伴い、エレベーターの改修工事を行った ・場所 市民体育館(高横須賀町榊形地内) ・内容 取替を行うための設計管理委託及び整備工事 ・工期 2024. 10. 16~2025. 3. 13	決算の内訳 (主なもの)	
		12節	2,618
		14節	24,419
		課名	
【スポーツ課】			
10-05-03	加木屋テニスコート人工芝張替事業	96,410	96,179
活動結果	経年劣化していた加木屋テニスコートの人工芝の張替を行った ・場所 加木屋運動公園(加木屋町竹ヶ谷地内) ・内容 第1コートA~F面の人工芝の張替 ・工期 2024. 5. 16~2024. 10. 31	決算の内訳 (主なもの)	
		10節	22
		14節	96,157
		課名	
【スポーツ課】			

施策 14 文化芸術の推進

主管課：文化芸術課

施策の目標

文化芸術にふれあう機会が創出され、文化芸術が盛んなまちになっています。

施策の基本方針

市民が文化芸術にふれ、関わっていくことができるよう、質の高い文化芸術鑑賞の機会を提供することで、心豊かな人材を育成します。
また、芸術劇場を拠点に、地域のにぎわいづくりにもつながるよう、文化芸術活動に取り組む市民や団体などを支援するとともに、将来の文化芸術の担い手となる子どもたちに対し、優れた文化芸術にふれる機会や質の高い指導を受けられる機会を提供します。

施策実現の財源投入状況（単位：千円）

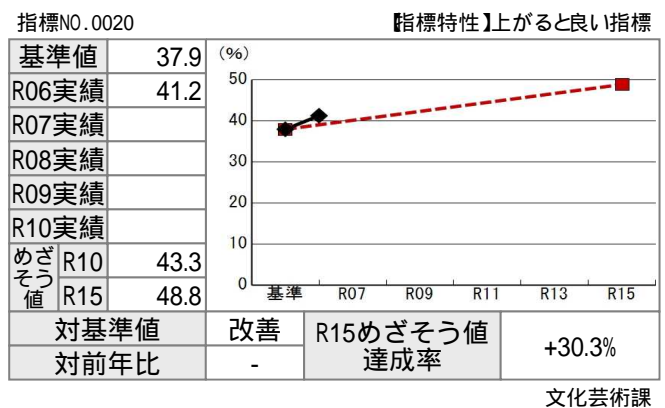
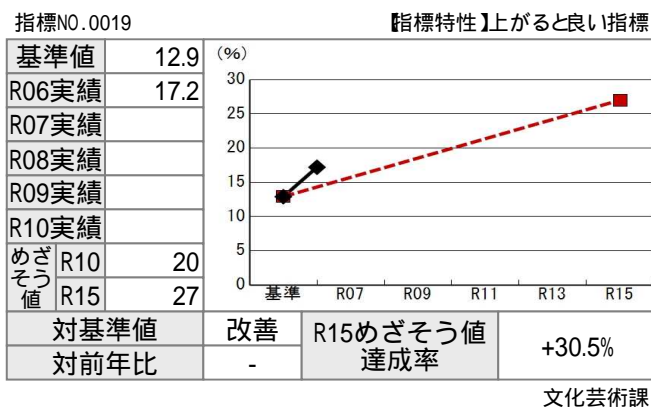
予算	R06年度	506,023	対前年比	107.5%
	R05年度	470,690		

決算	R06年度	500,137	対前年比	109.8%
	R05年度	455,613		

まちづくり指標の推移

文化芸術活動を複数回鑑賞したことがある人の割合 (%)

文化芸術活動が盛んなまちであると思う人の割合 (%)



施策全体の評価

順調

指標動向
 ・「文化芸術活動を複数回鑑賞したことがある人の割合」は、基準値より4.3ポイント改善している。年齢別では16歳から19歳が最も割合が高く、職業別では学生の割合が最も高い。
 ・「文化芸術活動が盛んなまちであると思う人の割合」は、基準値より3.3ポイント改善している。年齢別では16歳から19歳が最も割合が高く、職業別では学生の割合が最も高い。

施策全体評価の要因分析
 ・すべてのまちづくり指標及び単位施策の成果指標が対基準値で改善していることから、全体評価として「順調」と評価する。
 ・平成27年度の芸術劇場の開館以降、市民が参加可能なワークショップ等の活動や質の高い文化芸術鑑賞の機会の提供を継続して実施してきたことが、市民の文化芸術への関心度の向上に繋がったためと考える。
 ・特に、両指標ともに16歳～19歳の割合が高いのは、幼児や小中学生を対象としたアウトリーチ活動やワークショップを継続して実施してきたことが、大きな要因であると考えられる。

今後の方針
 ・質の高い文化芸術鑑賞の機会を提供していくとともに、幅広い世代が気軽に公演等を鑑賞できる環境づくりに努めていく。
 ・幼少期から優れた文化芸術にふれる機会や、質の高い指導を受けられる機会を継続的に提供していく。

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
芸術劇場友の会会員数（人）	8,622	8,622	10,295	12,751	改善
芸術劇場及び創造の杜交流館で行われる文化芸術事業の参加者数（人/年）	123,969	123,969	131,470	142,755	改善
この1年間に芸術劇場を訪れたことのある人の割合（%）	27.6	27.6	31.3	32.4	改善

成果指標動向

- ・「芸術劇場友の会会員数」は、前年度から2,456人、基準値からは4,129人改善している。なお、有料会員、無料会員ともに増加傾向である。
- ・「文化芸術事業の参加者数」は、前年度から11,285人、基準値からは18,786人改善している。
- ・「この1年間に芸術劇場を訪れたことのある人の割合」は、前年度から1.1ポイント、基準値からは4.8ポイント改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
10-04-08	文化協会活動補助事業	3,795	3,795
活動結果	文化協会が行う文化団体の交流及び育成強化並びに市民の文化生活上を目的とする機関紙の発行、発表会・展示会の活動、運営に要する経費に対し補助した ・加盟団体 64団体 ・団体加入者数 892人	決算の内訳（主なもの）	
		18節	3,795
		課名	
		【文化芸術課】	
10-04-08	文化祭開催補助事業	5,600	5,598
活動結果	文化祭実行委員会が市民の文化活動を発表する場として開催した文化祭の運営費に対し補助した ・開催期間 2024年11月 2日、3日 ・場所 市民体育館 ・補助率 定額(主催 文化祭実行委員会) ・2024年度文化祭実績 出品者数 2,095人、出品点数 3,489点	決算の内訳（主なもの）	
		18節	5,598
		課名	
		【文化芸術課】	
10-04-08	全国大会等出場者激励事業	240	240
活動結果	文化芸術活動の振興・育成に寄与するため、全国大会への出場者に激励金等を支給した ・対象者 個人(国内) 激励金 12人 120千円 団体(国内) 激励金 3団体 120千円	決算の内訳（主なもの）	
		7節	240
		課名	
		【文化芸術課】	
10-04-08	芸術劇場舞台設備改修事業	10,637	10,637
活動結果	舞台公演中の事故やトラブルを回避し、利用者の安心安全を確保するため、舞台設備の機器を改修した ・場所 芸術劇場大ホール及び多目的ホール ・内容 舞台設備機器の改修 ・工期 2024. 5. 24～2025. 2. 27	決算の内訳（主なもの）	
		14節	10,637
		課名	
		【管理課】	
10-04-08	芸術劇場舞台設備改修事業（繰越明許費）	3,190	3,190
活動結果	舞台公演中の事故やトラブルを回避し、利用者の安心安全を確保するため、舞台設備（機器直流電源装置交換等）を改修した ・場所 芸術劇場大ホール及び多目的ホール ・内容 舞台設備機器の改修 ・工期 2023. 6. 27～2024. 7. 5 (前年度繰越額3,190千円)	決算の内訳（主なもの）	
		14節	3,190
		課名	
		【管理課】	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
市民による文化芸術活動の開催数（回/年）	3,526	3,526	4,489	4,934	改善
文化芸術の実演活動に取り組んでいる人の割合（%）	5.6	5.6	12.6	13.7	改善

成果指標動向

- ・「文化芸術活動の開催数」は、前年度から445回、基準値からは1,408回改善している。
- ・「文化芸術の実演活動に取り組んでいる人の割合」は、前年度から1.1ポイント、基準値からは8.1ポイント改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
10-04-08	子ども芸能発表会開催事業	650	650
活動結果	子どもたちの文化活動への取組みを推進するため、子どもたちの文化活動を発表する子ども芸能発表会を開催した ・開催日 2025年 2月 2日 ・場所 芸術劇場大ホール ・出演団体 22団体、出演者 382人、入場者 1,616人	決算の内訳（主なもの）	
		12節	650
		課名	
		【文化芸術課】	
10-04-08	芸術劇場自主文化（鑑賞・にぎわい）事業	75,890	74,719
活動結果	文化芸術の普及及び振興を図るため、芸術劇場で質の高い各種公演等を実施した ・公演 22公演 延入場者 10,470人 ・美術展 延来場者・出展者 186人 ・ワークショップ 延参加者 85人	決算の内訳（主なもの）	
		1節	7,346
		3節	2,668
		12節	61,748
課名		【文化芸術課】	
10-04-08	子どものオーケストラ楽器購入事業	1,592	1,419
活動結果	子どものオーケストラの活動を充実させるため、活動に必要な楽器を購入した ・ティンパニ 2台	決算の内訳（主なもの）	
		17節	1,419
		課名	
		【文化芸術課】	
10-04-08	市民スタッフ育成事業	322	202
活動結果	芸術劇場来場者が安心して快適に利用できるよう、芸術劇場が実施する事業運営に参加する市民スタッフに対し研修を実施した ・登録人数 38人 ・研修回数 7回（レセプション研修6回、視察研修1回）	決算の内訳（主なもの）	
		7節	60
		8節	50
		10節	87
課名		【文化芸術課】	
10-04-08	芸術劇場自主文化（ひとつづくり）事業	48,834	44,993
活動結果	芸術劇場を中心とした市内全域において、ワークショップ等を実施し、文化芸術指導を受ける機会を提供した ・公演 6公演 延入場者 4,927人 ・ワークショップ 延参加者 15,298人 ・アウトリーチ 延参加者 2,546人	決算の内訳（主なもの）	
		7節	17,743
		8節	5,126
		12節	18,328
課名		【文化芸術課】	

施策 15 郷土の歴史・伝統文化・文化財の継承と振興

主管課：社会教育課

施策の目標

だれもが、まちの歴史や伝統文化に誇りや愛着を持ち、次世代へ継承しています。

施策の基本方針

郷土の歴史や伝統文化の普及のため、関係団体などと協力し、市民の興味・関心を醸成することができるような機会を提供するとともに、伝統文化などの取り組みに対し、参加者が継続して活動できる環境を整備します。

また、文化財などは保存するだけでなく、地域などとも連携しながら普及啓発を行い、次世代に大切に継承する環境を整えます。

施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	73,192	対前年比	62.2%	決算	R06年度	71,945	対前年比	61.9%
	R05年度	117,714				R05年度	116,190		

まちづくり指標の推移

市の歴史や伝統文化について知っている項目数（項目/人）

指標NO.0021

【指標特性】上がると良い指標

基準値	2.7	(項目/人)	
R06実績	3.1		
R07実績			
R08実績			
R09実績			
R10実績			
めざそう値 R10	3		
めざそう値 R15	3.2		
対基準値	改善	R15めざそう値	+80.0%
対前年比	-	達成率	

基準値	
R06実績	
R07実績	
R08実績	
R09実績	
R10実績	
めざそう値 R10	
めざそう値 R15	
対基準値	
対前年比	

社会教育課

施策全体の評価

順調

指標動向

・まちづくり指標は、対基準値で0.4項目改善している。年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて、項目数が多くなっている。職業別での差異は見られない。項目の内訳で見ると、細井平洲を知っている市民が最も多く、次いで聚楽園大仏及び仁王像、尾張横須賀まつり及び大田まつりを知っている市民が多い。

施策全体の評価の要因分析

・まちづくり指標は、市の教育施策や観光施策に紐づいている細井平洲や聚楽園大仏などが上位項目で、遺跡等の指定文化財や阪正臣等の先人が下位項目となっているが、全体としては順調に改善している状況となっている。下位項目については、市による周知・啓発が、市民の認知促進に十分つながっていないと考える。

今後の方針

・市の歴史や伝統文化に関する市民の認知度を高めるためには、認知度の低い遺跡等の指定文化財や阪正臣等の先人に関する周知が重要であるため、現在実施している「文化財普及啓発事業」の内容を充実させるとともに、各種媒体を活用して周知を図っていく。
 ・阪正臣に関する認知を促進するため、横須賀町に所在する阪正臣旧宅の保存・活用について検討を進めていく。

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
指定文化財のき損、滅失、亡失、盗難件数（件/年）	0	0	0	0	改善

成
果
指
標
動
向

- ・「指定文化財のき損、滅失、亡失、盗難件数」は、0件を維持している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
10-04-01	盆踊り講習会開催事業	30	28
活動結果	市ゆかりの歌と踊りの普及のために、町内会・自治会が単独又は連合で開催する盆踊り事業が円滑に実施できるよう講習会を実施した ・実施日及び場所 2024. 6. 20(名和小学校体育館) 2024. 6. 24(加木屋南小学校体育館)	決算の内訳（主なもの）	
		7節	26
		8節	1
		10節	1
		課名	
		【社会教育課】	
10-04-04	文化財調査委員会設置事業	1,373	1,373
活動結果	市指定文化財の調査・研究及び保護・普及を行うため、文化財調査委員会（委員8人）を運営した ・内容 第1回(2024. 5. 20)令和5年度文化財保護事業計画等 第2回(2024. 8. 29)県外視察の日程等 第3回(2025. 3. 26)ひとつづくり審議会委員の推薦等 県外視察(2024. 10. 11～12)山口県萩市（松陰神社等）	決算の内訳（主なもの）	
		1節	308
		8節	557
		10節	484
		課名	
		【社会教育課】	
10-04-04	指定文化財補助事業	6,567	6,535
活動結果	市指定文化財を良好な状態で維持するため、修理・保存、維持管理経費に対して補助した ・対象 市指定文化財 72件 ・補助率 保存事業 定額補助 修理復旧事業 2/3以内 その他 1/2以内	決算の内訳（主なもの）	
		18節	6,535
		課名	
		【社会教育課】	
10-04-04	高ノ御前遺跡発掘調査事業	11,620	11,620
活動結果	市道太田川駅前通り線の整備に伴い、整備区域内に所在する埋蔵文化財(高ノ御前遺跡)を適切に記録保存するため、発掘調査報告書を作成した ・内容 発掘調査報告書作成 ・事業期間 2024. 7. 3～2025. 2. 28	決算の内訳（主なもの）	
		12節	11,620
		課名	
		【社会教育課】	
10-04-04	聚楽園大仏仁王像補強事業	5,753	5,753
活動結果	聚楽園公園整備工事予定区域内に所在する聚楽園大仏仁王像について補強工事の施工に向けて、実施設計を行った ・場所 荒尾町西丸山地内 ・内容 聚楽園大仏仁王像補強工事実施設計 ・工期 2024. 7. 12～2025. 1. 31	決算の内訳（主なもの）	
		12節	5,753
		課名	
		【社会教育課】	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
平洲記念館・郷土資料館の利用者数（人/年）	4,749	4,749	5,985	5,089	改善
郷土の歴史などに関わる講座・講演会の参加者数（人/年）	341	341	364	609	改善

成果指標動向

- ・「平洲記念館・郷土資料館の利用者数」は、基準値より340人改善しているが、前年度より896人低下している。
- ・「郷土の歴史などに関わる講座・講演会の参加者数」は、基準値より268人改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
10-04-01	嚶鳴協議会活動事業	1,375	1,009
活動結果	ふるさとの先人を活かしたまちづくり、人づくり、心そだての取組を行う自治体の交流を目的として、嚶鳴協議会に参加した ・嚶鳴フォーラムin高鍋2024(2024.11.6) ・嚶鳴フォーラムin高鍋市民ツアー(宮崎県高鍋町) 日 程 2024.11.15、16 参加者数 9人	決算の内訳(主なもの)	
		8節	501
		13節	391
		18節	107
		課名	
		【社会教育課】	
10-04-01	嚶鳴広場各種講座等開催事業	3,119	3,119
活動結果	細井平洲先生をはじめ全国各地の偉人・先人の教えを発信するため、嚶鳴広場を拠点に公開講座及び各種展示等を実施した ・嚶鳴講座 2024.8.25(参加者65人)、9.21(参加者56人) 10.19(30人) 2025.2.15(65人) ・展示 特別展示 2回、企画展示 2回	決算の内訳(主なもの)	
		12節	3,119
		課名	
10-04-07	平洲記念館等各種講座開催事業	96	96
活動結果	郷土の偉人である細井平洲先生を市民に発信・顕彰するため、平洲記念館講座及び郷土資料館講座を開催した ・平洲記念館講座 2024.6.9(参加者38人)、7.27(参加者23人)、 8.24(参加者30人)、9.21(参加者20人)、 10.26(参加者21人)、11.23(参加者15人) ・郷土資料館講座(しめ縄づくり講座)2024.12.7(参加者23人)	決算の内訳(主なもの)	
		7節	80
		8節	16
		課名	
10-04-07	平洲記念館・郷土資料館活用推進事業	1,245	1,245
活動結果	平洲記念館・郷土資料館を活用し、郷土の偉人・細井平洲先生の教えや郷土の歴史を広く伝えるため、体験学習等を実施した ・小学校3年生を対象とした体験学習の実施(来館児童10校・942人) ・小学校5年生を対象とした調べ学習の実施(来館児童5校・478人)	決算の内訳(主なもの)	
		10節	16
		13節	1,229
		課名	
10-04-07	平洲記念館・郷土資料館開館50周年記念事業	2,437	2,175
活動結果	平洲記念館・郷土資料館の開館50周年を記念し、市内外に一層の周知を図るため、平洲カルタ制作やワークショップ等を実施した ・平洲カルタ制作 ・学芸員ワークショップ 2024.9.23(参加者20人) ・50周年記念特別展示 2025.2.4~3.16(来館者756人) ・50周年記念講演会 2025.3.1(参加者25人)	決算の内訳(主なもの)	
		7節	7
		10節	837
		18節	1,331
		課名	